

(平成 30 年 3 月 15 日)

開催日及び場所			平成30年3月2日（金）動物医薬品検査所第1会議室			
委員			下山 慶太（公認会計士）鈴木 恵美（弁護士） 大藤 淑子（税理士）			
審議対象期間			平成29年7月1日 ～ 平成29年12月31			
審議対象案件			9件 うち2者応札案件1件			
抽出案件			5件 うち1者応札案件1件 （抽出率55.6％）（抽出率11.1％）			
抽出案件内訳	工事	一般競争		0件 うち、0者応札案件0件		
		指名競争	公募型指名競争			
			工事希望型競争			
			その他の指名競争			
		随意契約				
	業務	一般競争		0件 うち、0者応札案件0件		
		指名競争	公募型競争			
			簡易公募型競争			
			その他の指名競争			
		随意契約	公募型プロポーザル			
			簡易公募型プロポーザル			
			標準型プロポーザル			
			その他の随意契約			
		物品・役務等	一般競争		4件 うち、1者応札案件0件	
			指名競争			
	随意契約（企画競争・公募）					
	随意契約（その他）		1件			
	（特記事項） 下山委員長が欠席。大藤委員を委員長代理とし開催。 第2、3四半期の契約実績、入札予定案件が少ないことから、第3回は2四半期分をまとめて開催することで委員の了承を得た。					
	委員からの意見・質問、それに対する回答等			意見・質問 （詳細に記述すること。）		回答等 （詳細に記述すること。）
				別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容			・ 特段意見なし ※			
[これらに対し部局長が講じた措置]			※			

事務局：

(注1) 必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2) 公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 42 条第 1 項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。

意見・質問	回答等
1 動物用医薬品検査所土壌汚染概況調査業務 予定価格と落札価格に差があるが、業者が提出する入札書には内訳毎の金額についても記載させているのか。 予定価格と落札価格に差があるが、業者が提出する入札書には内訳毎の金額についても記載させているのか。 参考見積を提出した業者を含め、入札に参加した全ての業者が予定価格を下回っている。全ての業者の入札額をみても落札した金額が他の業者と比べかなり安価ということではない。予定価格の積算が適正であった 落札した業者は今回初めての契約となるのか。 今回の予定価格の積算にあたり人件費の積算に用いた国土交通省が公表している単価が若干高いように思われる。参考見積を含め、参考価格として人件費についても予定価格の算定に反映させてはどうか。	入札の際は細かな内訳については提出させていないが、入札終了後落札した業者より内訳の提出をさせている。内容を確認したうえで契約を行っている。 予定価格については、業者からの参考見積を基に人件費等については、国土交通省が公表している単価を考慮し積算しており、適正なものと考えている。 今回が初めての契約となる。入札公告に記載されている競争参加資格も等級がAで大手の業者である。今回の契約については他社であれば分析業務については研究機関に委託しなければならないものの、自社で分析業務までできる業態である。そのため他に比べ安く契約できたものと思われる 年間に必要な機器をとりまとめ計画的に契約を行っている。 金額的に入札額は業者間で差はないものの、業務で必要なものについては、引き続きまとめて契約を行うことで少しでも安く契約できることが望ましい。
2 システム正立型生物顕微鏡ほか4品目購入 まとめて契約を行うことは良い。何か規則性があるが契約をまとめて行っているのか。	
3 動物用医薬品検査所分析機器等点検等業務 この契約の予定価格の算定基礎となっている参考見積は、どの業者から聴取したなど公表しているのか。	参考資料として業者から聴取していることから公表していない。
4 微生物迅速同定用マトリックス支援レーザーイオン化飛行時間型質量分析装置一 入札に外国の企業が参加して落札した場合、契約することとなるのか。	契約することになる。政府調達案件については、外国の企業を含めいろいろな業者からの参加を促すことから、官報に掲載し、英文での入札公告も行っている。

5 豚購入

契約している業者以外に販売している業者はないのか。

検定に必要な仕様に基づくものについては、契約している業者以外は難しい。
また、検定検査に必ず必要となることから、購入できないと業務ができなくなってしまう。そのため安定して購入できる複数の業者を確保しようと当所でも探しているものの、契約している業者以外は現在のところ見つけられない。

年間の購入頭数はどれぐらいか。

年間50頭程度。

引き続き安定供給のために購入できる業者の調査を行って頂きたい。

6 全体を通して（総評）

1点目の土壌調査については、予定価格の積算が適正であることは理解しているが、予定価格と入札額に差があることから指摘したとおり予定価格を作成する際は参考見積を含め、参考価格についても考慮し積算に反映させてはどうか。
その他の案件については適切に手続が行われていると思う。
今後も引き続き適正な事務の執行をお願いする。